令和6年7月 定例教育委員会

日 時 令和6年7月22日（月）9時30分～

場 所 市役所11階 会議室1

出席者

（教育委員）

松野教育長職務代理者 古賀委員 中村委員 西沢委員

（事務局）

陣内教育長 大藤教育総務部長 溝口総務課長 武尾文化財課長 富野学校教育部長
鳩山学校教育部長兼学校教育課長 木下学校教育部長 藤川総合教育センター長
峰松総務課長補佐兼庶務係長

欠席者 なし

傍聴者 なし

内 容

(1) 教育長報告

(2) 令和6年5月分 議事録確認

(3) 議 題

- ① 佐世保市いじめ等対策連絡協議会等設置条例の改正について（学校教育課）
- ② 工事請負変更契約締結の件（立神広場整備活用事業設計建設工事）（文化財課）
- ③ させぼ立神近代化歴史公園の指定管理者の指定変更の件（指定の期間）

（文化財課）

(4) 協議事項

- ① 佐世保市学校教育審議会答申について（学校教育課）

(5) 報告事項

- ① 令和6年6月定例会一般質問答弁について（教育総務部）
- ② 企業との連携協定について（7月26日 協定締結式開催）（総合教育センター課）

(6) その他

- ① 次回開催予定について
- ② ③を秘密会とする件
- ③ 令和6年度9月補正予算要求（3号）の件（教育委員会）

◆教育長報告

- 6月30日 歌浦小学校150周年記念式典
- 7月 6日 少年の主張大会
- 7月12日 令和6年度中核市教育長会第1回役員会、総会
- 7月18日、7月19日 第2回長崎県都市教育長協議会
- 7月20日 グローバルキッズ・チャレンジ Day 1

(1) 教育長報告・議事録確認

【陣内教育長】

7月の定例教育委員会を開催いたします。まず私から報告ですが、6月30日に歌浦小学校150周年記念式典がございました。それから7月6日に少年の主張大会が開催されております。今回から特別支援学校にもこちらから依頼しまして、参加していただきました。また、7月12日は令和6年度中核市教育長会第1回役員会、総会に出席するために東京出張いたしました。7月18日、19日は第2回長崎県都市教育長協議会に出張しました。また、今年もグローバルキッズ・チャレンジが7月20日から第1回目としてスタートしました。

それでは議事録の確認に参りたいと思います。5月分の議事録の確認はよろしかったでしょうか。

【全教育委員】

はい。

【陣内教育長】

ありがとうございます。それでは議題に入ります。議題の1個目「① 佐世保市いじめ等対策連絡協議会等設置条例の改正について」学校教育課から説明をお願いします。

(2) 佐世保市いじめ等対策連絡協議会等設置条例の改正について

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

議題資料P1～P3により説明

【陣内教育長】

ありがとうございました。ご審議のほどよろしく申し上げます。

【松野教育長職務代理者】

この専門部会の委員または臨時委員は、6人以内をもって組織するとあります。ということは、推進委員会の委員と臨時委員を含めて6人以内ということで、推進委員が足りないときには、臨時で委嘱して、それぞれの作業部会の内容を情報交換されるということでしょうか。

【鳩山学校教育部長兼学校教育課長】

複数の重大事態が発生した場合には、それぞれのケースに調査ができる専門部会を複数持つというようになります。

【陣内教育長】

1件しか事案がないときは、部会を作らず、推進委員会で対応する。2件目があつたときに専門部会ができるというイメージでしょうか。

【富野学校教育部長】

おっしゃる通り、重大事案が1件だけの場合には、推進委員会で審議をしていただくということです。複数になった場合には専門部会を立ち上げて、調査をしていただきながら、最終的には推進委員会で了承をいただくという形になります。

(3) 工事請負変更契約締結の件（立神広場整備活用事業設計建設工事）、させば立神近代化歴史公園の指定管理者の指定変更の件（指定の期間）

【武尾文化財課長】

議題資料P4～P9により説明

【西沢委員】

させば立神近代化歴史公園の件で、指定の期間が9年5ヶ月に短縮されているという理由が、土壌汚染対策に要する期間が増加したことを理由に期間を見直したとありますが、整備期間を延長したから指定管理期間を短くするという因果関係はどういったところにあるのでしょうか。

【武尾文化財課長】

もともとDBOの募集のときの期間は概ね10年間としておりました。実際に工事に入り後ろ倒しになったことにより、供用開始がずれましたので、契約者と協議しまして、4ヶ月の短縮になっているというところでございます。

【陣内教育長】

よろしかったでしょうか。

【全教育委員】

はい

(4) 佐世保市学校教育審議会答申について

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

協議事項資料P1～P12により説明

【陣内教育長】

生徒指導のあり方については、基本的な考え方が文部科学省より示されておりまして、それは当然ベースになっています。その上で、学校教育審議会からいただいた答申を踏まえながら教育委員会が示すものですが、教育委員の皆さんから、校則や生徒指導の問題について、こういったことは入れて欲しいとか、そういった忌憚のないご意見をいただいた上で、事務局がそれを1つの案として示させていただきたいと思っております。

また、どの学校でもこのガイドラインに沿えば、保護者にお伝えできて、保護者の意見と循環するシステムになって欲しいと思っております。

なお、学校が生徒の伴走者として一緒に育つような考え方が広がっていけばいいと考えており、必要以上に細かいルールはもういらぬような気がしています。推奨という考え方と、これが決まりですという考え方と2種類があるかもしれません。

【西沢委員】

守るべきルールは自分たちで作れるんだ、自分たちで決めたんだから守らないといけぬいというところもあってもいいのかなと思いました。

【陣内教育長】

生徒も保護者も学校もそれぞれが納得できるような決め方、守り方、守らせ方で、運用できないかという観点です。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

その学校の校則も含めて、生徒が選べるかどうかというところは、1つの審議ポイントになってきたところです。高校につきましては、自ら志願して、そういう決まりがあるということがわかっていて、入学しています。

中学校に関しましては、居住地によって通う学校が指定されているにもかかわらず、決

まりが厳しくなるなど、実際に学校差があったりします。

専門家の方が、謙抑的という言葉が使われておりますが、これは校長判断で、学校差が著しく大きくなることは控えるべきではないかという考えによるものです。

【陣内教育長】

貴重な意見をいただきました。

できる限り反映をさせていただいて、8月に提案をさせていただきたいと思います。よろしかったでしょうか。

【全教育委員】

はい。

(5) 令和6年6月定例会一般質問答弁について

【大藤教育総務部長】

報告事項資料P1～P32により説明

(6) 企業との連携協定について（7月26日 協定締結式開催）

【藤川総合教育センター長】

報告事項資料P33～39により説明

【中村委員】

大新技研さんだけじゃなくても、そういう仕事が地元にあるということを知ることが、佐世保市に戻ってくる子供たちを増やすこともできるんじゃないかと思っておりますので、この素晴らしい取り組みが広がることを期待したいです。

【西沢委員】

大新技研さんの企業説明など、どれだけすごい会社なんだよとか、こうやって子供たちのことを考えている会社なんだよというのを子供たちに伝えるタイミングというのはどこかであるのでしょうか。

ふるさと教育の観点があるのであれば、連携している企業のことを子供たちにPRする場があってもいいと思いました。

【藤川総合教育センター長】

協賛企業については、市内にこれだけの企業がいるということをお子たちに積極的に伝えていくという観点から、プラネタリウムの動画や、科学館での展示ブースを使った企業と準備を進めているところです。

また、アイデアソンの開催ということで、市内の小学校高学年、中学生、高校生もサポーターに入ってもらい、例えば佐世保が抱える課題など、10年後の佐世保を考えてみようということで、夏休み期間に数回にわたって検討しています。

様々な手法も考えながら、いろいろな体験の中で課題解決能力を育んでもらいたいと考えております。

その後、次回開催予定日を確認し、終了となった。

- - - 了 - - -